

【地域の概要】

- 鵜飼で有名な小瀬地区は関市の中心部に位置し、長良川が流れ、平坦な地区である。
- 農用地面積は43.94haで、水稻が中心。

①取組開始前の状況や課題

現状

○担い手への農地の集積については、令和4年度で60%となっている。

○遊休農地面積については、令和4年度2%となっている。

課題

○数年前から耕作がされておらず、一年草雑草、多年草雑草が繁茂しており、雑木も存在している。また、優良農地の間で、農地の荒廃は集落にとって悪影響となっている。

②取組内容

農地パトロール実施（令和5年10月）

○農業委員会による農地パトロールを実施し、遊休農地の把握、8件の通知を行った。

○10月に農地所有者と接触し、地元農業委員を中心に、他の委員、所有者、周りの農地所有者等と連携して解消に向けた活動を実施した。

イキイキ再生週間での遊休農地解消

○12月に県、市、農業委員会で30aの草刈り作業を行った。

③今後の展開と方向性

利用意向調査の実施

○現在行っている農地パトロールを継続して行い、遊休農地の発生防止を図る。また、特に長年管理されていない遊休農地については、土地所有者の意向を調査し、農地中間管理事業を活用し、解消に向けた活動を行う。

農地の見回りの徹底

○決められた時期のみ巡回するのではなく、常時、地域の状況把握ができるよう農業委員・推進委員の見回りの徹底に努めていく。
また、地元農家とも協力・話し合いをしながら遊休農地の解消や集積、集約化に努める。



草刈後

